

温泉の成分、禁忌症、適応症

温泉の成分

- 1 温泉利用施設名称 堂ヶ島 ニュー銀水
 2 源泉名、ゆう出地又は採取地 賀茂郡西伊豆町仁科1837-1
 西伊豆町副配湯所
 仁科・堂ヶ島5号・仁科・堂ヶ島16号 混合泉
 3 泉 質 カルシウム・ナトリウム-硫酸塩温泉
 (低張性・アルカリ性・高温泉)
 4 泉 温 源泉又は採取地 52.4 (°C)
 使用位置 49.0 (°C)
 5 電気伝導率 (EC値) 266 mS/m
 6 温泉の成分 (pH 8.8) (mg/kg)

陽イオン	ナトリウムイオン	Na ⁺	216.8
	カリウムイオン	K ⁺	7.8
	マグネシウムイオン	Mg ²⁺	0.1
	カルシウムイオン	Ca ²⁺	467.9
	鉄(II)イオン	Fe ²⁺	0.4
陰イオン	炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	3.4
	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	5.8
	水酸化物イオン	OH ⁻	0.1
	塩化物イオン	Cl ⁻	73.5
非解離成分	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	1472
	メタケイ酸	H ₂ SiO ₃	41.9
その他微量成分	メタホウ酸	HBO ₂	0.7
	アルミニウムイオン	Al ³⁺	<0.05
	マンガンイオン	Mn ²⁺	<0.05
	鉄(III)イオン	Fe ³⁺	<0.05
	銅イオン	Cu ²⁺	<0.05
	臭化物イオン	Br ⁻	<0.05
	ヨウ化物イオン	I ⁻	<0.05
	メタ亜ヒ酸	T-P	0.036
総リン酸態リン	T-P	<0.03	
成分総計			2.290 g/kg

- 7 加水の有無 全浴槽 有
 8 加温の有無 全浴槽 有
 9 添加物質の有無 全浴槽 無
 10 再利用(循環)の有無 全浴槽 有
 11 ろ過の有無 全浴槽 有
 12 消毒の有無 全浴槽 有
 13 温泉の分析年月日(現地調査の日) 平成24年5月28日
 14 分析者名又は分析機関名 一般財団法人静岡県生活科学検査センター
 理事長 曾布川 和則
 静岡県第1号
 15 分析機関登録番号

温泉の禁忌・適応症・温泉利用許可

- 1 禁忌症(浴用)
 急性疾病(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)
- 2 適応症(浴用)
 (1) 一般的適応症
 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
 (2) 泉質別適応症
 きりきず、やけど、慢性皮膚病、動脈硬化症
- 3 温泉浴用上の注意事項
 1 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とし、その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
 2 温泉療養のための必要期間は、おおむね2週間ないし3週間とすること。
 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現われることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。
 (1) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。
 (2) 入浴中は一般には安静を守り、入浴後は、湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。
 (3) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は逆に入浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)
 (4) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので、身体にかけ湯をしてから入浴する等、十分注意する。
 (5) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 (6) 飲酒しての入浴は特に注意する。
- 4 浴槽の温泉利用状況(加水、加温、添加物質、循環、ろ過)の理由等
 加水の理由 夏季のみ適温にするため
 加温の理由 温泉供給事業者により適温にするため
 循環ろ過の理由 衛生管理のため
 消毒の方法 塩素系薬剤を定量投入
 消毒の理由 滅菌のため
- 5 温泉利用許可
 松保総第3-120号 昭和54年3月26日
 掲示表作成者 静岡県温泉協会西伊豆支部
 支部長 吉田新司

